

談話会のお知らせ

講師

東京工業大学理学院数学系
教授・田口雄一郎 先生

タイトル

「ほどほどに大きい代数体上の
Mordell-Weil群」

概要：

体 K 上のアーベル多様体 A の Mordell-Weil 群 $A(K)$ は、 K が素体上有限生成な体ならば有限生成である事がよく知られてゐる (Mordell-Weil の定理)。一方、例へば K が有理数体 Q の時、 $A(\hat{Q})$ は無限階数であらうと予想されてをり (Frey-Jarden の予想)、これについて幾つかの結果が知られてゐる。この場合の「無限階数」とは「 $\text{tensor } Q$ したものが無限次元」の意味であるが、今回は「 K が大き過ぎなければ $A(K)$ や $A(K)/(\text{torsion})$ は可除部分群を含まない」といふ方向の結果を紹介する。

(小関祥康氏との共同研究)

日時

令和2年1月9日(木)

16:30~17:30

場所

理A408室

問合先/世話人
数理科学科/三柴善範